

からしだね



2009年
7月号(442号)

キリストの受難 カトリック池田教会

共同宣教司牧: 畠 基幸神父・松本一宏神父

協力司祭: デニス・マックゴワン神父

住所: 〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL: 072-751-2400 FAX: 072-753-4624

URL(ホームページ): <http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic/>



ナルチゾ・ガバツツオラ神父様

5月の旅行中に帯広教会を訪問、ナルチゾ・ガバツツオラ神父様が迎えてくださいました。

聖堂の丸い天井と低い窓が、深い祈りの場という印象を与えていました。

巻頭言	2	8月のガラスケースの言葉	2
評議会議事録	3	6月の委員会活動報告	4
お通夜と葬儀について	5	信徒総会議事録(暫定)	6
9月のガラスケースの言葉	7	サンチャゴ巡礼日記	8
信徒異動	9	救命救急士講習会のご案内	9
裁判員制度学習会	10	中高生会ワークキャンプ ...	10
からしだね俳壇	11	神父様だより	12
バザーキャッチフレーズ募集	12		

表紙写真: カトリック帯広教会 撮影: 仲 恒子

巻頭言

叫ぶ

松本一宏神父

『ジーザス・クライスト＝スーパースター』というミュージカルを聞かれたことがあると思います。映画では何度か観たことがあったのですが、先日初めて実際の舞台を観る機会がありました。舞台装置はとてもシンプルで、砂漠のような荒涼とした舞台の上で、イエスの最後の日々が語られます。貧しさ・政治的圧迫から救ってくれると期待してイエスにすがりつく人びと、人びとの期待と本当の使命との間で苦しむイエス、ついに行きたいが自分の求めることとの違いを感じて裏切ってしまうユダ、邪魔者を始末しようとする支配者たち、それぞれの生き方・思いが交錯します。俳優たちの圧倒的な歌に引きつけられて、聖書的・神学的にはつつこみ所がいろいろあったのですが、舞台上の世界に完全に入ってしまい、あっという間の時間でした。話としてはイエスが十字架に架けられる場面で終わるのですが、フィナーレではイエスも再び登場して歌っていましたので、「あ、ちゃんと復活してるんだな」と納得しました。エンターテインメントとしても十分楽しめますし、イエスの十字架の意味を考えるための黙想にもなる、そんなミュージカルでした。来年の四旬節あたりにまたやってくれないだろうかと期待しています。

印象に残った場面を挙げればきりがありません。イエス、ユダの歌はものすごい迫力で素晴らしいものでした。また、群衆のイエスへの期待、そして憎しみを表現する踊りは、言葉はないのに訴えかける力に満ちていました。心を揺さぶられる場面が次から次へと続くのですが、終演後、後ろの席にいた若い女性の感想が耳に入って来て、それがとても印象的で心に残っています。こんなコメントでした。「イエスってキリストなのにシャウト（叫ぶ）するんやな。」

たしかに舞台の上でイエスは叫び続けます。「群衆よ、なぜ私がほんとうに伝えたいことを理解しないのか」。ゲッセマネの場面でも「この杯を取りさってください」と父なる神に叫びます。聖書を読めばイエスの感情が高まる場面もありますが、さっと読んでしまえばそれまでです。目の前で役者が腹の底から叫び歌う姿に触れて、イエスはこれほどまでに人びとに向かって、神に向かって叫んでいたのかと理解できます。救い主イエス・キリスト と言うと、従順で清廉潔白、何があっても大声を出さないというイメージを持っていたかもしれないこの女性には驚きだったのでしょうか。聖書を知っているはずの私にとっても新鮮でした。神さまに向かって“叫ぶ”っていうのはちょっと・・・といつの間にか思っていないでしょうか。叫びにもいろいろあると思います。日曜日に詩編の祈りに心を合わせて歌うことも叫びです。言葉にならない叫びをもって祈ることもあります。心の中の思いを自由に神さまにありのままさらけ出すこと、それが叫びではないかと思います。舞台の上のイエスは自ら叫ぶ姿を通して、神との親しい交わりへの道を示してくれたようでした。

8月のガラスケースの言葉

神のなされることは 皆その時にかなって美しい。
神はまた、人の心に、永遠を思う思いを授けられた。
(伝道の書 3章11節)



2009年7月 定例評議会

日時 : 2009年7月5日(日) 10:45~12:20

場所 : カール記念館 2階 会議室

出席者: 【司牧チーム】 畠神父

【議長】 林

【副議長】 (高橋)

【書記】 福本

【総務】 金岡・(神崎)

【財務】 赤井・清水

【典礼】 (小川)・藤阪

【福音宣教】 中路・(坂口)

【研修】 谷掛・青池

【社会活動】 (中岡(え))・柴田

【広報】 杉山・坂野

【地区】 犬飼・馬場

()は欠席

1. 開会の祈り: 畠神父

2. 審議・報告・連絡事項

■議長席

聖トマス大学は2010年度より学生募集を停止する。1963年に大阪教区立の大学として開校したが、近年、学生が集まらず、経営努力を重ねたが、状況は改善しなかった。教区としては学生や教職員のアフタケアについて模索している。

各教会でも協力をお願いしたい。

冠婚葬祭についての確認

- ・「葬儀」の際の連絡網や手伝いについて、地区委員のマニュアルの内容を確認。遺族から司祭に連絡。司祭は、議長と典礼(仲和子さん)に連絡。議長は、各地区委員(正)へ連絡。その後地区連絡網で回す。故人が他の地区でも、全地区の連絡網で回すように徹底する。「からしだね」で紹介する(P5参照)
- ・今年度の結婚式係は、市岡さん、山内さん、太田さんの3名。毎年1名ずつ交代。オブザーバーとして古曳さん。マニュアルについては係内での引き継ぎ書がある。畠神父より

司祭の不在時に備えて「主日の集会祭儀」という冊子がある。その冊子の「教会の祈り」による式次第に慣れるため、ミサ前(畠神父司式の日)に祈りを唱えることとする。セクシャル ハラスメントの教育をするよう通達が来ている。

■総務委員会

第1回バザー委員会を7月4日に開催した。去年と同じスタイルで開く。出店も、麦茶以外は変わらず。幼稚園は同日、まりあまつりを行うが、別開催となる。次回委員会は9月5日。

バザー収益金の使い道について提案→聖堂の補修やAEDの導入などがあり、例年よりも教会維持経費が増大している。そこでバザー収益金の一部で補填したい→評議会として認める。バザーの「テーマ」は信者から新たに募集する。

今年のテーマは、「めざせみんなの地球家族」で、エコへの取り組みだった。

バザーの開催を保健所と消防署に届け出るべきである→届出をする方向で調整する。教会の大掃除

8月30日ミサ後に実施する。聖堂のワックス掛けは、リーダー(白浜さん)を中心に男性の手伝いが4~5名必要。→総務より、ミサ後のお知らせで手伝いを依頼する。カール記念館、司祭館、聖堂の椅子の移動は、例年通り。なお、カール記念館のワックス掛けは済。

AEDが導入された。(P9参照)

行事手伝などのために地区委員が必要とする予算執行について→総務ではなくて地区委員が直接請求できるようにしてはどうかとの提案が、信徒大会でなされた→総務と地区委員会が相談し請求方法を決める。財務としては、予算との大きな違いがないかぎり総務・地区のどちらから精算が出てきても構わない。

聖母被昇天ミサ後の「納涼の集い」→地区委員会で担当(その他地区)を決定済。
スイカとキャンディーを準備予定。

10月25日 レオナルド・コサカ神父の金祝のお祝いについて。主宰は御受難会。
池田教会にてミサ後、お祝いパーティーをおこなう。教誨師として活躍されている。
平日に教会の前に駐車する場合は、受付に申し出る事とする。教会の仕事のために車で来ても、停められず、有料駐車場を使用せざるを得なかった事があった。

■ 典礼委員会

大判「聖書と典礼」を購入すべきではないか→若干数をテストケースとして準備する。
反応をみながら部数を調整する。

3. 終わりの祈り 畠神父

6月の委員会活動報告

■ 総務委員会

6/12 AED(自動体外式除細動器)をカール記念館受付室に設置。
(中路ますみ、山内朋子両氏に保守管理を依頼)

6/14 池田消防署へ火災避難訓練報告書提出。

■ 財務委員会

6/29 聖ペトロ使徒座献金 33,189円

■ 福音宣教委員会

6/7・28 おしゃべりコーナー設置

6/3・10・17・24 幼稚園アルファコース

6/27 アルファコース1期生同窓会開催

「ドン・ボスコ」のDVD観賞、そのあと昼食とわかちあい

■ 研修委員会

6/21 カトリック医師会講演会医師団への昼食接待
(カトリック新聞の記者を含め、7名参加)

(青少年育成)

6/13~14 中高生会 (参加者7名)

6/27 日曜学校お祈りお泊り会 (参加者14名)

キャンプについて、日生の係りの方と打ち合わせ

■ 社会活動委員会

6/13 シナピス移動学習会(池田教会にて)

北摂地区8教会から52名出席。

講師 笠松健一弁護士による「裁判員制度について」

6/21 食物の奉献 米・食品 ... 宅急便にて「子どもの里」へ送る

釜ヶ崎献金 22,237円→お米券30枚購入

6/28 Sr.マリアの案内で釜ヶ崎現地炊き出し見学

池田教会...山本、高橋、柴田

日生教会...井口、山名 合計5名

この時に5月6月分のお米券60枚を「旅路の里」へ手渡し

・ガレージセール売り上げのなかから「インド友愛の手」へ3万円の振り込みを完了

■ 広報委員会

6/20~21 からしだね編集 6/25 折込(小正さん) 6/27 からしだね発行



お通夜と葬儀の連絡等の体制について

7月の評議会でお通夜と葬儀の連絡等の体制について懇談しました。そこで現在どのような体制になっているのか、簡単に示しておきます。各地区委員に配布済みのマニュアルにしたがっています。詳細は各地区委員にお尋ねください。

《通夜・葬儀について》

連絡体制

受付 → 司祭 → 典礼

↓ → → 評議会 議長 or 副議長 → 各地区 地区委員(正) → 各地区 連絡網

地区委員の役割

地区への連絡

評議長は以下の事項を各地区委員に伝達する。各地区委員は地区へ下ろす。

地区、亡くなられた方、喪主、住所・電話番号、通夜(日時)、葬儀(日時)

当該地区の地区委員の役割

通夜 2名、葬儀 2名の手伝いを手配

遺族の相談役となる

遺族の友人関係により、地区を越えて相談役となるケースがある。

この場合、手伝いのかたちが変わるので、その都度打ち合わせる事。

通夜ぶるまい・精進上げの確認

(ただし、注文は遺族で行う)

宿泊の有無の確認

・宿泊はカール記念館2階和室を使用。

シーツ類はタンスの中にあるので、セルフサービスでの利用となる。

使用済シーツ類は和室のすみに置くこと。

クリーニング代として1000円が必要。

クリーニング代は葬儀当日に地区手伝いが受け取り、クリーニングに出す。

・別刷で『カール記念館ご使用について』というプリントが、受付葬儀バインダーにあるので、宿泊の場合は遺族に渡す。

その他教会内での役割

1) 地区手伝いの人は主に通夜・葬儀の受付を手伝う。

献花手伝いは葬儀社へまかせ、カール記念館利用の案内役となる。

委員以外が地区手伝いとなる場合、手伝いの人に役割内容を必ず指示する。

2) 葬儀当日の手伝いの昼食準備。(通夜は不要)

・予算500円で人数確認の上用意する。(例：手伝い2名、典礼2名、計4名分)

3) 遺族が、希望により、聖堂に安置された棺の付き添いをする場合

・遺族は司祭に申し出て、鍵を預かり、責任を持って聖堂の出入りをする事。

教会へのお礼について

・葬儀社の料金の中には教会への献金は含まれていない。

・封筒に「献金」と書き、記名の上、司祭に渡す。

葬儀社(レクイエム会)が遺族との打ち合わせの際に、教会へのお礼の方法と封筒も呈示してくれる。

・詳細は地区委員に問い合わせ。



2009年度 信徒総会 議事録 (暫定)

日時：2009年6月14日 10:30～11:50 場所：聖堂 出席者：92名
司会：松下前議長 議長：林議長 書記：鋤納前書記

1. 始めの祈り：畠神父

2. 今年度の方針

畠神父 ～今年度の課題～

大阪教区 昨年9月に出された教区養成部門業務計画にのっとった活動

大阪教区 4月の新生計画 新生へのメッセージにのっとった活動

北摂地区信徒使徒職養成講座の実りを生かす

→ 病者への聖体奉仕・集会祭儀奉仕者の活用など

祈りの基本についてもう一度考えたい

議長 ～今年度の目標～

池田教会の伝統である、外部の方々への「家庭的」「暖かい」「親切」「笑顔」をこれからも大切にしたい。

教会は社会とは異なった尺度で動いている。社会的には価値がないと思われそうなところにも価値を見出して活動したい。また、人にとっては教会での活動がすべてではないから、互いを批判するのではなく、ほんの少しでもよいから教会でも働ければよいと考える。

3人もの神父様を頂いて、その熱い情熱と一体となった強い指導に期待したい。

総務委員会(担当：金岡) ～今年度の活動～

6/7火災避難訓練(毎年1回実施) 多数の参加に感謝 消防署に報告書を提出

AEDを設置 → 救命救急スタッフを組織したい。消防署に講習を依頼予定

名札の着用もさらに進めていきたい

バザー → 7/4から準備会。日生の担当者との連携を強めたい。

多くの行事があるので信徒の協力が必要

財務委員会(担当：赤井) ～昨年度決算と今年度予算について～(別紙参照)

収入予算 昨年比200万円増 ← 昨年度は日程の関係で復活祭献金がなかった

支出予算 各委員会からの申請に従って計上

長期的に必要な費用(大規模修繕・建替え等)の積み立てが必要

畠神父と御受難会の承認の下、4月より既に実施

典礼委員会(担当：小川) ～活動について～

毎回のミサを滞りなく行えるように活動を行う

侍者育成 小杉さんを中心に活動

聖歌奉仕 ミサ曲の選曲、先導 復活祭を機に「祈りと歌」を刷新

ミサの準備・後片付け 復活祭を機に典礼聖歌集を新しく購入し、カバーをつける

お花の活け替え

研修委員会(担当：谷掛) ～活動について～ 現在14名で活動

年3回の黙想会 10/31 日生との合同黙想会 指導：Sr. 亀岡(小林聖心)

11/15 待降節前の黙想会 指導：和田神父様(箕面教会)

2/14 復活節前の黙想会 指導：山内神父様(御受難会)

信徒総会の運営手伝い

図書管理 新穂さん・河野さん

日曜学校(担当：渡口)

・各学年担当者 ... 幼～1年生：村田(直)・高橋(真) 2年生：磯野(恭)・桜庭

3～4年生：マイヤー(成)・新穂 5～6年生：デニス神父・ミゲル

・夏のキャンプ 日生中央教会と合同で行う

・お泊り会 年8回(5月はインフルエンザで中止)と3月に5・6年生のお別れ会

・その他 ... バザーでのゲームコーナー・クリスマス会など



福音宣教委員会（担当：中路）～活動について～

大阪教区の新生計画をうけて2006年から発足

おしゃべりコーナー 日曜ミサに来られた未信者との集い

アルファコース（昨年より実施）... 多くの信者スタッフが協力

第1期終了 12名 （妻が信者である未信者の夫が中心）

第2期開始 10名 （マリア幼稚園のお母様方）

その他

カール記念館の使用者の管理・結婚互助会への協力・ドレミの会への協力・幼稚園の保護者の集いでの昼食提供・教会門横のガラスケースの管理・病者や高齢者へのクリスマスや復活祭のカード送付など

社会活動委員会（担当：柴田）～今年度の活動について～

6/13シナピス移動学習会 裁判員制度について

毎月第3日曜日に釜ヶ崎募金 その週の水曜日に物品を持って釜ヶ崎訪問

→昨年よりSr. マリアの案内により釜ヶ崎の現状を学習している

ガレージセール・バザーでの古着販売・マーマレード販売などで資金を得て、各地に援助

→マーマレードなど手作り品を皆で楽しく作っている

その他...歳末助け合い募金・チャリティコンサートのお手伝い・教区からの養成に応じた募金

広報委員会（担当：杉山）～活動について～

からしだねの発行（第1週から3週にわたって活動...原稿集め・編集・折込 4週目に発行）

意義：知らせること・記録すること・残すこと

地区委員会（担当：犬飼）～活動について～

ランチ当番・聖堂以外の清掃協力

各行事への協力→今年度は行事の担当地区が変更になった

3. 質疑応答

現在総務委員会で持っている各行事用の予算を地区委員会に移管してはどうか

- ・実際に行事を行う地区委員会が予算を持つほうが、実施がしやすい

→評議会で検討する（金岡総務委員）

「聖書と典礼」の拡大版を入れてほしい →担当で検討（畠神父）

若い人々の教会離れへの対策として、何か教会からメッセージを出せないか

→家庭で聖書やみことばに親しんで欲しい(畠神父)

教会での子ども時代からの絆があれば若い人は必ず戻ってくる（林議長）

日生中央と池田とのコミュニケーションをもっとはかりたい

- ・木曜日10：00～12：00 コルベ塾への参加
 - ・うぐいすまつり（日生中央の春のバザー）への参加（現在は参加者が少ない）
 - ・兄弟教会、また共同宣教司牧の教会としてどのように交流ができるか考えてほしい
- 畠神父より 池田教会は現在3人の体制だが、いつまで続くかはわからない。
→信徒も行事への参加だけでなく、奉仕や信徒使徒職への参加が必要

4. 終わりの祈り：畠神父（詩編150より）

この議事録は畠神父様・松下前議長・林議長の署名捺印を頂いて、正式に発効します。

（総会書記 鋤納）

9月のガラスケースの言葉

私は世の光である。

私に従う人は闇の中を歩かず、命の光を得るであろう。

（ヨハネ 8章12節）



(新連載) サンチャゴ巡礼日記

池田市 地区 山内 敬子

2009年6月11日、空港まで見送りに来てくれた友人が、バスに乗ってしまい、広い広い関西空港に取り残されたとき、私の生まれて初めての一人旅が始まりました。

去年、『サン・ジャックへの道』という映画を観てから、サンチャゴ巡礼へは、ずっと行ってみたいと思っていました。そして、今年3月に仕事を辞めたとき、よし！行こう！と決めました。やることは山ほどありました。まず、不安がる家族を説得し(これが一番大変でした(笑))、ツアー会社を探し、保険に入り、海外で使える銀行口座を作り、パスポートを更新しました。

そして、リュックをはじめとした持ち物の準備を開始。それと同時進行で行ったのは猪名川の河川敷でのウォーキングでした。ズボラな私ですが、巡礼が始まれば、1日20キロ歩くのですから、今歩いておかないとなんだか恐ろしいことになる気がして、毎日まじめに歩いていました。

さて、飛行機は順調に飛び、オランダで乗り換え。現地時間21時、無事にスペインの首都、マドリードに到着しました。空港まで迎えに来てくれたのはスペイン人運転手のホセさん。ホセさんとかたことの英語でおしゃべりしながら、今回参加するツアーを主催している古村さん宅へ。古村さんがいい人で一安心。古村さんに連れられて、スペインの居酒屋、バルに始めて行き、エビや生ハムのピンチョスをごちそうになり、ぐっすり眠りました。翌日12日は体力調整のため、マドリードで1日フリー。調子に乗って、散歩に出かけて道に迷い、危うく巡礼に行きそびれるところでした。

そして、13日、巡礼開始。朝7時に今回のツアーガイドの佐々木さん、一緒にツアーに参加される男性1人と待ち合わせ、タクシーでバスターミナルへ向かいました。長距離バスで、マドリードから、人口20万の街レオンへ。ここで、もう1人の巡礼参加者の女性と合流し、バスを乗り換えて今回の徒歩巡礼開始地点、ビジャデフランカ・デル・ビエルソへ。レオンまでは荒れ野や牧草地が続くのですが、レオン以降は少しずつ林や森が現れ始めます。黄色いエニシダが丘一面を覆っていたり、野原には真っ赤なケシが咲いていて美しい眺めです。

ビジャデフランカ村に到着後、ホテルに荷物を預けて、巡礼手帳(クレデンシャル)をもらいにアルベルゲ(巡礼宿)へ。この村のアルベルゲは日本の居酒屋や木造のアスレチック施設のようで、なかなかさっぱりときれいな所でした。パスポートを見せて、必要事項を記入し、クレデンシャルを入手。一番最初のスタンプもそこで押してもらいました。





その後は近くの教会へ観光に出かけました。この教会の側面には普段は開かない免罪の門がついていて、その門の前には1本の小道が通っています。ふくよかな教会の守り番トニーニョおじさんが教えてくれたところでは、この小道を、あのアシジの聖フランシスコも通ったという言い伝えがあるんだとか。確かめようはありませんが、でも、本当にそうだったのか

も。私の洗礼名がたまたまフランチェスカなのですが、イタリアからもスペインからも遠いアジアの小国に生まれた私が、イタリアに生まれた聖人にあやかった名前をもらい、今、何百年ものときを隔てて、彼も歩いたかもしれない道を歩いている。そう思うと、不思議に感慨深いものがありました。

《第2回へつづく》



信徒異動

■ 洗礼おめでとうございます

ヨゼフ 岡田 英明さん (7月11日受洗) (川西市地区)



■ ご冥福をお祈りします

ベッコウヤ
マリア・アグネス 鼈甲屋 ハナさん (93歳 7月14日帰天) (池田市 地区)
ヨゼフ 中戸川 清さん (84歳 7月16日帰天) (川西市地区)

救急救命士講習会の御案内 (総務委員会より)

教会にもAEDが設置されました。役に立ってはいけないのですが、こればかりは分かりません。AEDを有効に使うためには機械の操作ばかりでなく、心臓マッサージができる「救急救命士」が必要です。

池田消防署では、月3回(9日・19日・第4日曜日 13:15より 3~4時間)

無料で救急救命士の講習会(先着30名まで)を開催しています。

受講希望者は 072-751-0119 (救急担当者)

もしくは、教会総務 金岡まで

申し込んでください。

「もし、あなたが裁判員になったらどうしますか・・・？」

宝塚市地区 中岡えり子

6月13日に、カール記念館にて、裁判員制度について、シナピスの移動学習会が行われた。

暑い中にもかかわらず、タイムリーで身近な内容だったためか、50名以上の方々が集まり熱心に講義を聞いた。

はじめに裁判員制度について、15分のビデオを見て、その後笠松弁護士(大阪弁護士会)の講義を資料に基づき伺い、質問コーナーでは様々な質問や不安に対して、先生が分かりやすく丁寧に答えて下さった。

まずは裁判員制度とは、市民が刑事裁判に参加し裁判官と一緒に、有罪、無罪を判断し、有罪の場合は刑罰を決める制度であるということ。多くの国民が参加することにより様々な環境の人や、体験を経てきている人など・・・広い視点や感覚が裁判の内容に反映されるようになるということであった。

そして、裁判所から呼ばれる可能性は、1つの事件につき裁判員候補者となる確率が330人～660人に1人となることを聞き、他人事ではないと実感した。

また、現在の刑事裁判の問題点として、ちょうど連日報道があった足利事件の冤罪についてや、自白の強要についてを挙げられた。これらを少しでも無くすには取調べの可視化の必要を感じた。



最後に印象に残ったことは、裁判員は人を裁くのではなく、有罪を立証する証明が出来ているのか、出来ていないのかと考え、疑問に思えば、無罪としていいのだと聞き、少し気持ちが楽になったことである。と同時に、この制度についてまだまだ疑問が残ったのも確かであった。

今後の課題として、死刑制度のことなどカトリック者として、どう考えていけばいいのか...? 神父様などに話を伺いもっと勉強していかなければと思った。

中高生会 2009年夏のワークキャンプのお知らせ

今年も池田・日生中央合同で夏のキャンプが開催されます。去年とおなじく、奈良県のレーベンス・シューレ(生活を学ぶ学校)に御世話になります。

自然に囲まれた場所で、草刈り、枯れ木集め、鹿の侵入を防ぐネットの補修、側溝の掃除などの作業をとおして、神様の存在を感じたり、自然の偉大さ、大切さを学ぶよい機会となるでしょう。

いろいろ予定があると思いますが、たくさんの参加を期待しています。

日 時：8月11日(火)、12日(水)、13日(木)

場 所：奈良県宇陀郡御杖村神末雨谷フランチスコの山

連絡先：06-6758-1096(大阪事務所 中村さん)

参加費：6,000円(当日徴収、兄弟割引があります。詳細は平石・境井まで)

締 切：7月末日(松本神父のレターケースに入れるか、直接渡すこと)



*リーダーは松本神父、山内神父、平石、境井、石戸を予定しています。

*持ち物などについては、参加希望者に後日連絡します。



かうしたね

俳壇

真美子

貼り紙の多き電柱日の盛り

生ビール失敗談に盛り上がる

とよ

滴りを含めば六腑清流に

藤椅子や母永遠に留守ほうむ

末子

中天狭く木屋町の夏ともし

空港は浮島にあり夏と雲

伸子

パリ祭と孫の誕生を重なりて

明けやうぬ朝の読書や初夏の風



七月号

村々



万緑や祈りの鐘の鳴りやまず

蝋燭の炎重たし梅雨の果て

夢子

事ひとつ終えて汗あく老いの坂

水打つ露路の夕風通ひだす

實子

ふりさとや橋のたもとのか草

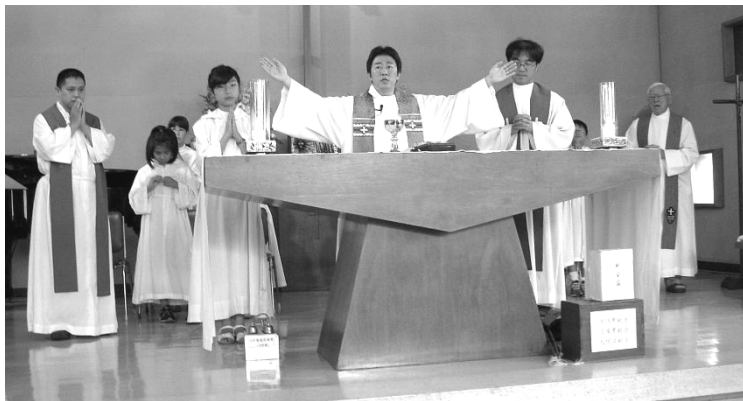
芥子畑抜けきて古き理髪店

(従兄の葬儀に) 純枝

紫陽花の礼拝堂より駆出す

花り来て山霧流れ又流れ

贅沢なひとコマ



7月12日(日)久しぶりに御受難会の中村神父様が池田教会にお出かけくださって、主日のミサを司式してくださいました。中村神父様の池田教会での司式は、4年前の初ミサ以来だそうです。御受難会の山内神父様も来て下さって、松本神父様とともに叙階された3人の神父様が勢揃いされました。

デニス神父様が、3人を見守るように傍にひかえていらっしゃるのが印象的でした。

神父様不在の主日を迎える教会が多い中、池田教会は本当にぜいたくな幸せな教会ですね。

～ 染野神父様より ～

引越ししました



一部では水不足の報も聞かれておりますが、梅雨空の下、皆様如何お過ごしでしょうか。

さて、5月31日をもち、私は一年間の長崎・城山教会での奉仕を終え、御受難会宗像修道院・福岡黙想の家に着任いたしました。この一年間のお祈りとご援助に感謝し、長崎での経験を生かして御受難会の使徒職に励んで参りたいと思います。今後まかわらぬ御支援をお願いしてご挨拶とさせていただきます。 主の平和のうちに。

2009年6月

染野 治雄 C.P.

キャッチフレーズ募集

合同バザー委員会

来る10月18日(日)に日生中央教会と共同開催されるバザーの準備が始まりました。

今年のバザーを盛り上げるために、信徒の皆様にバザーの『キャッチフレーズ』を考えていただくという事になりました。

つきましては、聖堂入口置いてあります用紙に『キャッチフレーズ』をご記入のうえ多数御応募ください。(お一人何通でも結構です。)

なお、採用させていただいた『キャッチフレーズ』を応募された方には、バザーでのみ使用できる金券を贈呈いたします。

締切：8月30日(日)正午

編集後記

夏も本番！今年は解散・総選挙で熱く暑い夏になりそうです。

海上自衛隊のソマリアでの武器使用が認められたり、気づかないうちにいろいろなことが進められているような気がします。こんなはずではなかったということのないように心して投票に行きたいと思っています。

からしだねも8月は夏休みを頂きます。皆様くれぐれもご自愛ください。

(Samie)